平成28年度 予算審査 DIGEST

平成28年度の一般会計当初予算を可決したほか5件の特別会計、6件の企業会計の当初予算を可決しました。

一般会計当初予算の概要

平成28年度の一般会計当初予算の規模は378億3,000万円で、前年度と比較して22億3,000万円の増、伸び率は6.3%となっています。

子ども医療費助成事業や学校施設環境改善事業などの「子育てしやすいまちづくり」、健康スポーツサービス産業創出事業やにこにこ畜産経営事業などの「魅力あるしごとづくり」、新幹線新大村駅(仮称)周辺整備事業や木場スマートインターチェンジ(仮称)整備事業などの「住んでみたい、訪れてみたいまちづくり」、地域密着型サービス施設整備事業や都市再構築戦略事業などの「安全・安心で快適に暮らせるまちづくり」の4項目について、重点的に予算を配分しているほか、総額約6億6,000万円の新規事業が実施されます。

議員からの質疑・意見

当初予算の審査における議員からの主な質疑・意見は次のとおりです。

□市長公室

地方創生推進事業

本市の地方創生を推進するため、新たに雇用する総合戦略推進アドバイザーについて、平成28年度に公募を予定している産業支援センター長と報酬が同額であり、雇用や勤務形態等の条件を比較した場合、著しく不均衡であるため、次のことを要望しました。

①必ず大村市に在住すること。
②たとえ非常勤であったとしても、常勤に準じた形で勤務することとし、会議等には、必ず出席すること。

□総務部

ふるさとづくり基金事業

Q ふるさと納税に係る事務軽減のためのシステムを導入する予定はあるのか。

A 平成28年度にはシステムを導入する。

□財政部

市税等収納整理・強化事業

Q 収納課の窓口対応時において印象が悪いという市民の声に対し、職員への指導はどのように行っているのか。

A 職員には随時、指導しており、課内においても、接遇の向上のみを目的とした研修を行い、改善に努めているが、まだ不足しているところも認識している。このため、民間企業での研修など、研修内容の見直しを人事課に依頼している。

□福祉保健部

子ども医療費助成事業

今後の事業実施にあたって、厚生文教委員会として次のとおり付帯決議を行いました。

●福祉保健部が所管する子ども医療費助成事業における今後の財源を、次のように見直し、安定した事業とすべきである。

子ども医療費助成事業は、こども夢基金を財源としており、安定的な財源とは言いがたい。当該事業の重要性、継続性を鑑み、安定的な財源を検討すること。

□こども未来部

保育料収納対策事業

Q 保育料の滞納状況はどのようになっているのか。

A 過年度分の滞納額に対する今年度の収納率の見込みは、約23%である。収納率の向上対策については、収納業務の一元化に伴い、収納課からさまざまなアドバイスを受けて取り組んでおり、また、悪質な滞納者については、収納課が対応することとしている。

□農林水産部

にこにこ畜産経営事業

Q 事業化に至った背景について説明を求める。

A 近年の畜産業界を取り巻く厳しい状況に対応し、将来にわたって本

注4：企業同士の出会いの場を提供し、販路開拓、事業提携、共同開発など新たな事業展開を促進する取り組み

平成28年度の主な新規事業

◇学校施設環境改善事業…1億2,275万6,000円
安心・快適な学習環境を整備するため、市内の小・中学校21校のうち、未整備である18校の図書室にエアコンを整備するとともに、小・中学校全校の特別教室に扇風機を整備

◇にこにこ畜産経営事業…885万円
安全・安心で良質な畜産物の安定生産により畜産業の維持・存続を図るため、経営基盤の強化対策として補助金を交付

◇地場企業販売促進力強化支援事業…500万円
中小企業者が大都市圏等でビジネスマッチング[注4]等の商談会に出展する場合に要する費用に対して、補助金を交付

◇地域密着型サービス施設整備事業…2億1,704万1,000円
地域の介護基盤の整備を進めるため、地域密着型介護老人福祉施設等の介護サービス事業者に対し、施設整備の補助金を交付